

日本一の 広域市町村合併から5年



新高山市には魅力ある地域資源が増えました(写真は乗鞍山麓五色ヶ原の森・布引滝)



岐阜経済大経済学部教授
鈴木 誠さん

高山市と岐阜経済大学は地域の個性を生かしたまちづくりや人材育成などに連携して取り組むため、協定を締結しています。特に鈴木教授には、これまで市民活動応援指針策定や男女共同参画プラン、集落实態調査など、高山市のまちづくりの各分野で提言・指導いただいています。

昨年秋、民主党政権が誕生しました。その最重要課題が「地域主権」です。新政権の「地域主権戦略会議」では、地域の主人公を住民としています。そこでは、地域に暮らす住民に共通する課題を、住民がいきいきと話し合い、自ら率先して行動し、課題解決を図ることこそ少子高齢社会を迎える日本の目標であるといえます。行政や議員は住民との協議に参加し、一緒に行動して地域の自治を具現化する

鈴木誠 岐阜経済大教授に聞く 高山市の地域・市民活動こそ地域主権時代のお手本

必要性を強調します。でも、このしくみは高山市にとつて目新しいことではありません。合併を契機に、合併前にも増して活発な町内会活動が展開され、防犯や防災に心強い存在となっています。個性豊かな名称の市民活動団体も活躍中です。飛騨高山高校の生徒による「SMILE HOUSE 山高望」は市街地の多世代交流拠点として注目的です。移動児童センター「おでかけ隊」、初田町

と本町の空き店舗で始まった地域福祉活動拠点「よって館」、高根の冬季ファミリーホーム「のくとい館」などの活躍も、大垣や岐阜にも届けられています。多様な住民の情熱的で誠実な地域活動・市民活動が、厳しい時代の中で温かな地域コミュニケーションを創造し、地域主権時代のお手本となっていくでしょう。市民のみなさんの協働の力にまですす注目し、応援させていただきます。

地域づくりの胎動が聞こえる

始まっています。地域主体の新しいまちづくり

高根の活性化を願って NPO法人ワイ・アイ・ケー

高根地域では昨年4月、NPO法人ワイ・アイ・ケーが立ち上がりました。

この会は、同期の元商工会青年部員などのみなさんが中心となって高根地域の活性化を目指して設立したもので、昨年7月にオープンした飛騨高山御嶽トレーニングセンターの管理運営や地域の歴史・文化を守る活動、高根地域に古くから栽培されてきた在来のそばの作付けなどに取り組んでいます。

今後はそばなどの地域資源の新たな活用を通じた地域おこし事業を展開し、高根地域の活性化へとつなげていきたいと頑張っています。



日和田高原そば収穫感謝祭の様子

連携で地域の魅力アップ

高山南観光客誘致推進協議会

市の南部に位置する一之宮、久々野、朝日、高根の4地域では、観光事業に携わる各種団体が組織する高山南観光客誘致推進協議会を設立し、広域的な観光振興を進めています。

この取組みは、各支所の枠を超えて豊かな自然や伝統文化などの資源を連携させることで、一体感のある観光振興を進めようというもの。協議会では、グリーンツーリズムの受入体制整備や魅力ある体験メニューづくりに知恵を絞り、交流人口の増加につなげていきたいと積極的に取り組んでいます。



4地域の名所をめぐるモニターツアー(一之宮町・水無神社で)